

# 令和3年度第2回災害時外国人サポーター研修 外国人との交流を通じ、防災ニーズを考える！



日程：令和3年10月31日（日） 13：30～16：00

会場：メルパルク京都 4階「藤」

対象：災害時の通訳・翻訳による外国人支援に興味のある方、多文化共生に関心がある方

近年日本で生活する外国人数が年々増加しており、日本において深刻な災害が発生する頻度も増えてきています。このような状況により、在住外国人の災害時支援はますます重要性を高めています。

本講座では、過去の大規模災害時に現地で外国人支援に当たられた二人の講師を招き、過去の事例を基に災害時外国人支援体制について学び、サポーターの役割について確認します。

研修の後半は、小グループに分かれて話し合いをします。日本人参加者と外国人参加者（※JICA長期研修員さん）で意見交換をしながら、災害時外国人支援体制を築くためのヒントを考えていきたいと思えます。

内容：第1部：災害時外国人サポーターの役割、心構えについて～東日本大震災・熊本地震の事例より～  
第2部：グループワーク（外国人との交流 改めて外国人の困りごとを聞いてみよう！）



講師：大久保 雅由さん（災害時外国人支援情報コーディネーター・城陽市国際交流協会 事務局長）  
2011年の東日本大震災、2016年の熊本地震の際に、被災地の外国人支援に関わり、現地の「多言語支援センター」の司令塔として活躍。研修では、「多言語支援センター」の体制及び災害時の翻訳依頼の仕組みについてお話いただきます。



講師：麻田 友子さん（災害時外国人支援情報コーディネーター・京丹後市国際交流協会 事務局長）  
2016年の熊本地震の際、現地で設置された「災害時多言語支援センター」業務に従事し、被災地域各避難所を巡回、被災外国人の困りごと、ニーズ把握等に努めた。研修では、災害時外国人サポーター「巡回班」の心構え及び働きについてお話いただきます。

申し込み：公益財団法人京都府国際センター（担当：山本） ☎075-342-5000/✉s-kouza@kpic.or.jp

メールタイトルを「第2回サポーター講座参加」とし、上記まで以下①～⑤をご連絡ください。

①お名前 ②ご所属 ③電話番号 ④メールアドレス ⑤通訳・翻訳可能言語（任意）

主催：公益財団法人京都府国際センター 共催：独立行政法人 国際協力機構 関西センター（JICA関西）

定員：40名（先着順）

申込〆切：10月30日（土）まで

※新型コロナウイルス感染症対策として、会場入室時の手指消毒・検温及びマスク着用にご協力をお願いします。

（37.5度以上ある方等につきましては、入場をお断りする場合がありますので、ご了承ください）

※JICA長期研修員とは：研修員受け入れ事業のうち、受入期間が1年以上の研修を指します。長期研修員として来日した研修員は、大学院に入学し、修士／博士課程を通して、母国の開発に寄与するための総合的かつ高度な技術や知識の習得を目指します。JICA関西では現在、関西の11大学において、約150名の研修員を受け入れています。



公益財団法人  
京都府国際センター  
Kyoto Prefectural International Center

